



2024年9月期 第1四半期決算補足資料

2024年2月14日

株式会社デジタルリフト
(東証グロース:9244)

目次

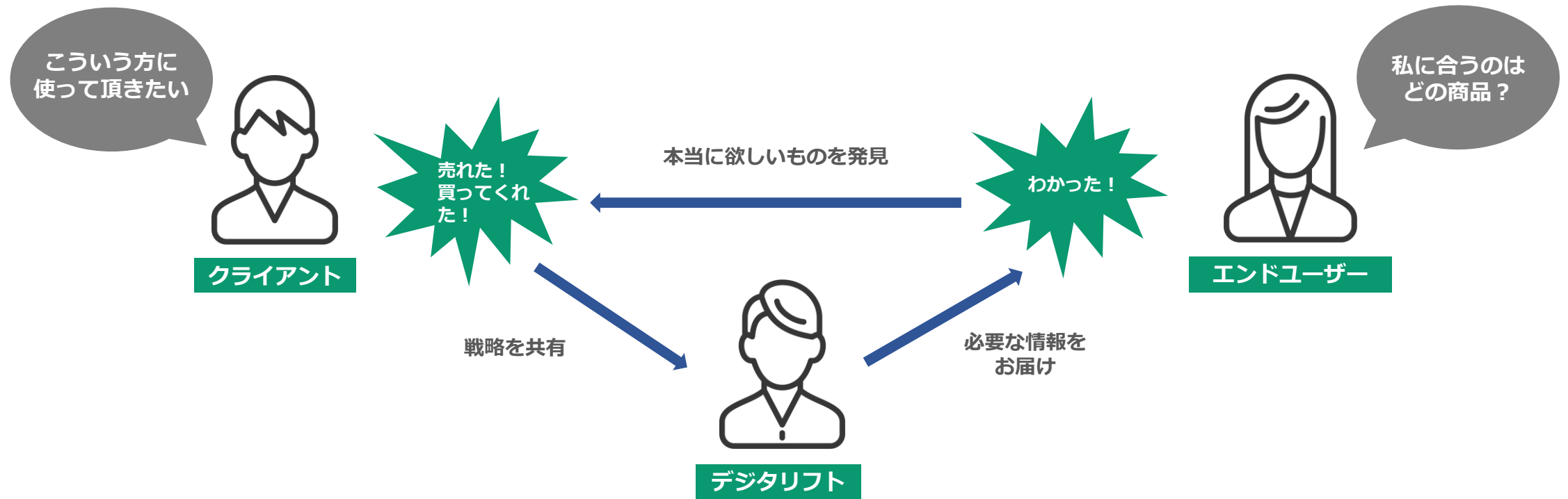
- 1. 当社グループ事業内容
- 2. 2024年9月期 第1四半期連結決算概要
- 3. 2024年9月期 通期連結業績見込進捗
- 4. 今後の成長戦略
- 5. Appendix

1. 当社グループ事業内容



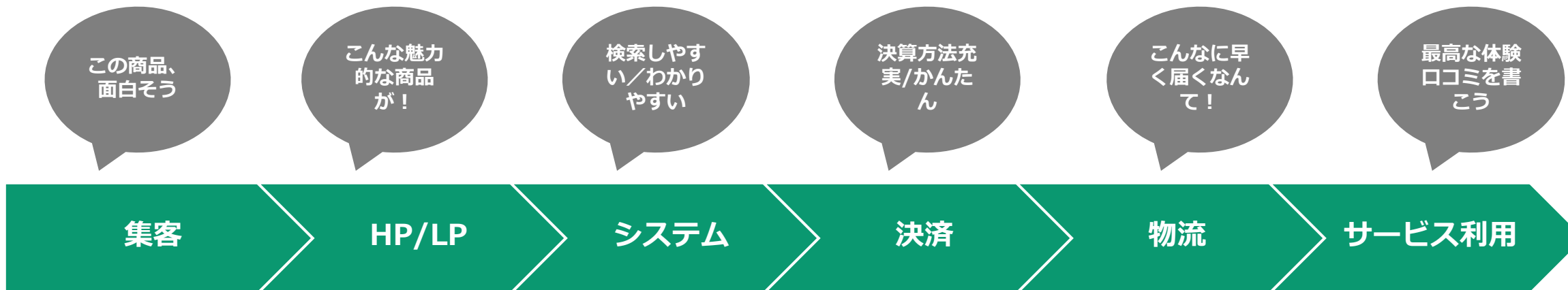
カスタマーの意思決定を円滑に

デジタルの力でクライアントとエンドユーザー双方の利益をLIFTします



User Experienceをデジタル技術で最適化する

デジタル上のエンドユーザーの顧客体験



我々のミッションは、エンドユーザーの顧客体験そのものをデジタル技術で最適化する事にあります。集客からサービス利用までの全体コミュニケーション最適化の為、サービス領域を拡大してまいります。

※User Experience = 顧客体験

デジタル領域の手段を増やし、実行力を大幅に強化

既存サービス領域

(=広告・コンサルティングサービス領域)

広告運用を核とした最適化推進

コンサルティング

マーケティングの上流部分から下流への接続を行う。全体設計や、データ基盤構築。広告に囚われないソリューションを実現

広告運用

圧倒的高品質、高レベルな広告運用を提供。時代のトレンドに合わせた媒体も積極活用し、費用対効果を最適化

拡張サービス領域

(=ブランド・メディアサービス領域)

集客手段、メッセージ力強化など
デジタル施策の幅を拡張

SEO

Webサイト上位表示のための徹底した分析・戦略設計を提案するSEOサービス。必要に応じてオウンドメディアの提案も

インフルエンサー

目的に応じた最適なキャスティングから企画立案、実際のディレクションやレポートまでを一気通貫でご提供

アフィリエイト

人の介在が多く煩雑になりがちな運用をサポート！初期段階や少額予算からでも配信可能

SNSアカウント運用

明確な戦略設計・高品質なクリエイティブ・徹底した分析でSNSの特性に応じた効果的な運用を実現

制作

商品・サービスの特性を深く理解し訴求要素から構成まで情報を効果的に整理。今刺さるクリエイティブを提案・制作

2. 2024年9月期 第1四半期連結決算概要



当社はウェブコロール株式会社の株式を40%取得しました。
ウェブコロール株式会社の概要は以下の通りです



ウェブコロール株式会社
2023年6月期

売上高 : 378,897千円 (税込)
 営業利益 : 102,483千円 (税込)
 営業利益率 : 27%
 当期純利益 : 74,075千円 (税込)
 本社 : 福岡県
 事業内容 : SEOコンサルティング事業
 SEOメディア事業
 ホームページ制作事業、等

「地域×業界」キーワードで検索順位上位を取り、
地域を制するSEOに強みを持っています。



業績ハイライト（単体・連結実績）

□ 連結売上高

- ・単発大型案件が当期減少した影響により単体売上が減少
- ・meyco社の連結子会社化による増加

□ 連結売上総利益

- ・単体の売上総利益率の高い案件が減少したことにより成長率が鈍化
- ・meyco社の連結子会社化による増加

□ 連結営業利益

- ・meyco社のM&Aは、のれん償却含めて利益貢献（のれん費用、株式取得関連費用の回収フェーズ）
- ・ウェブコロール社M&Aに係る株式取得関連費用の増加により営業利益が減少
- ・貸倒引当金計上により営業利益が減少

単位：百万円

	FY2023 1Q単体 実績	FY2024 1Q単体 実績	FY2024 1Q連結 実績	連結on単体 増減額	YoY 増減額	YoY 増減率
売上高	795	757	820	62	25	3.2%
売上総利益	212	168	189	20	△23	△10.9%
売上総利益率	26.7%	22.3%	23.0%	—	—	△3.6Pt
販売管理費	157	165	184	19	26	17.0%
営業利益	54	3	4	0	△49	△92.0%
営業利益率	6.8%	0.5%	0.5%	—	—	△6.3Pt
経常利益	55	3	3	△0	△52	△94.1%
親会社に帰属する四半期 純利益又は四半期純損失（△）	37	1	△1	△3	△39	△103.8%

YonY 通期累計期間増減分析

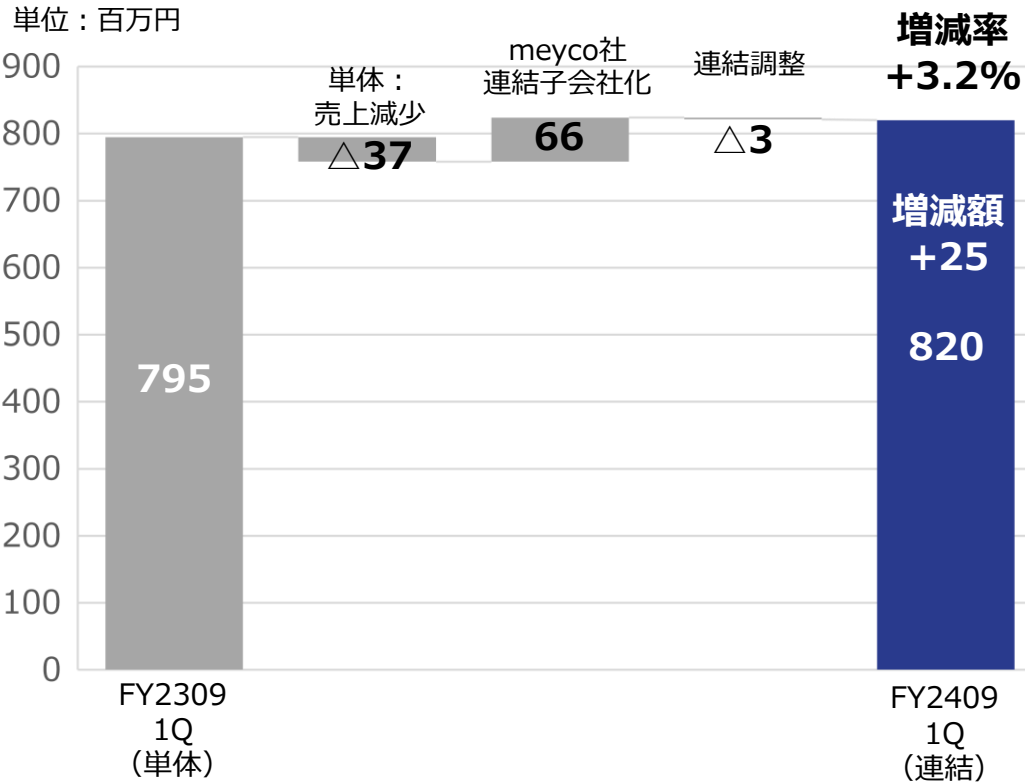
売上高

- +meyco社連結子会社化がプラスに寄与
- デジタリフト単体としては、単発大型案件が当期減少した影響により、単体売上が減少

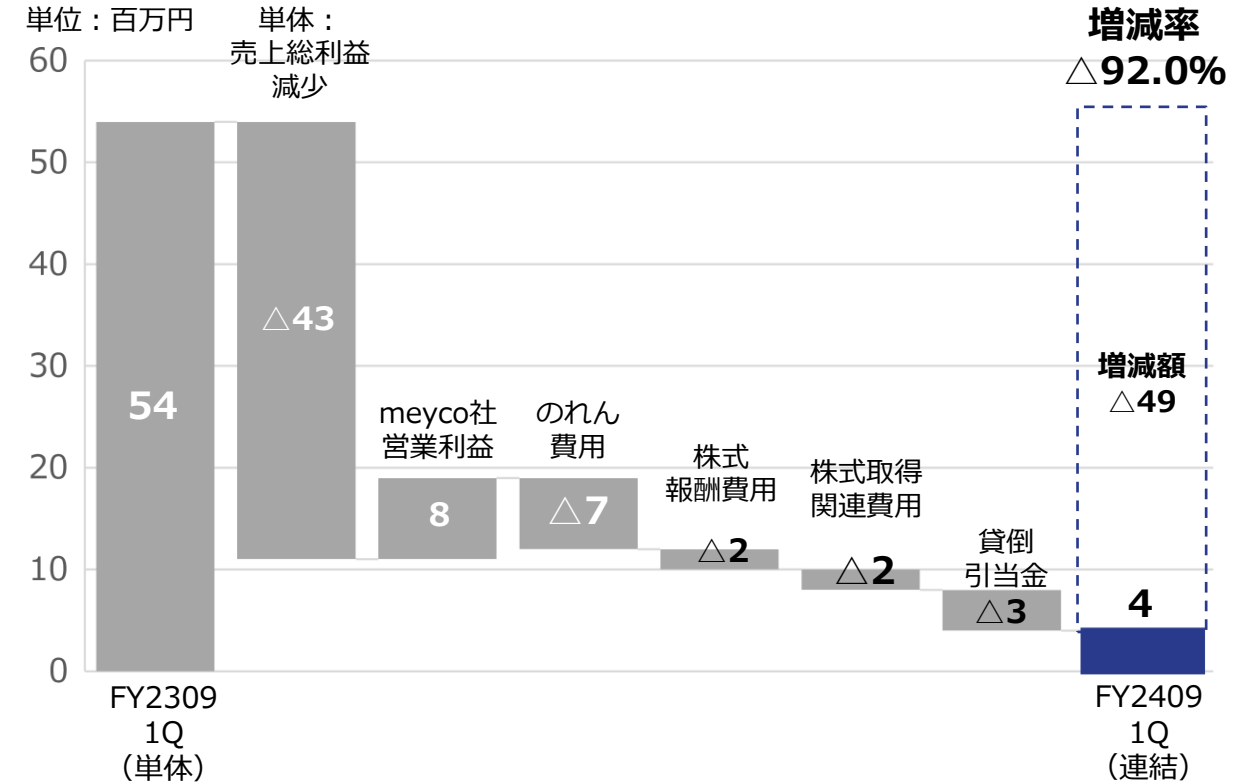
営業利益

- デジタリフト単体で、売上総利益率の高い案件の減少により、マイナスの影響
- 株式報酬費用の発生により、マイナスの影響
- M&Aの株式取得関連費用が増加し、マイナスの影響
- 貸倒引当金計上により、マイナスの影響

売上高

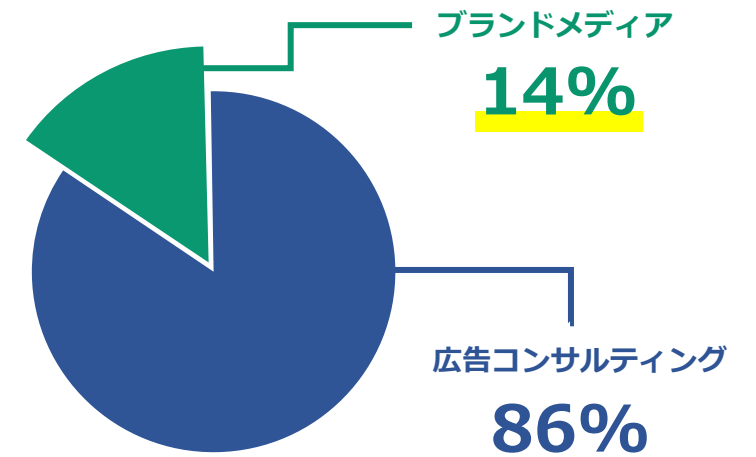
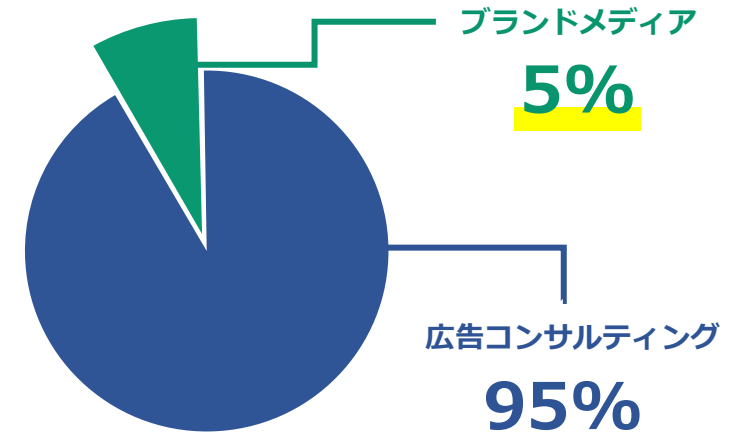
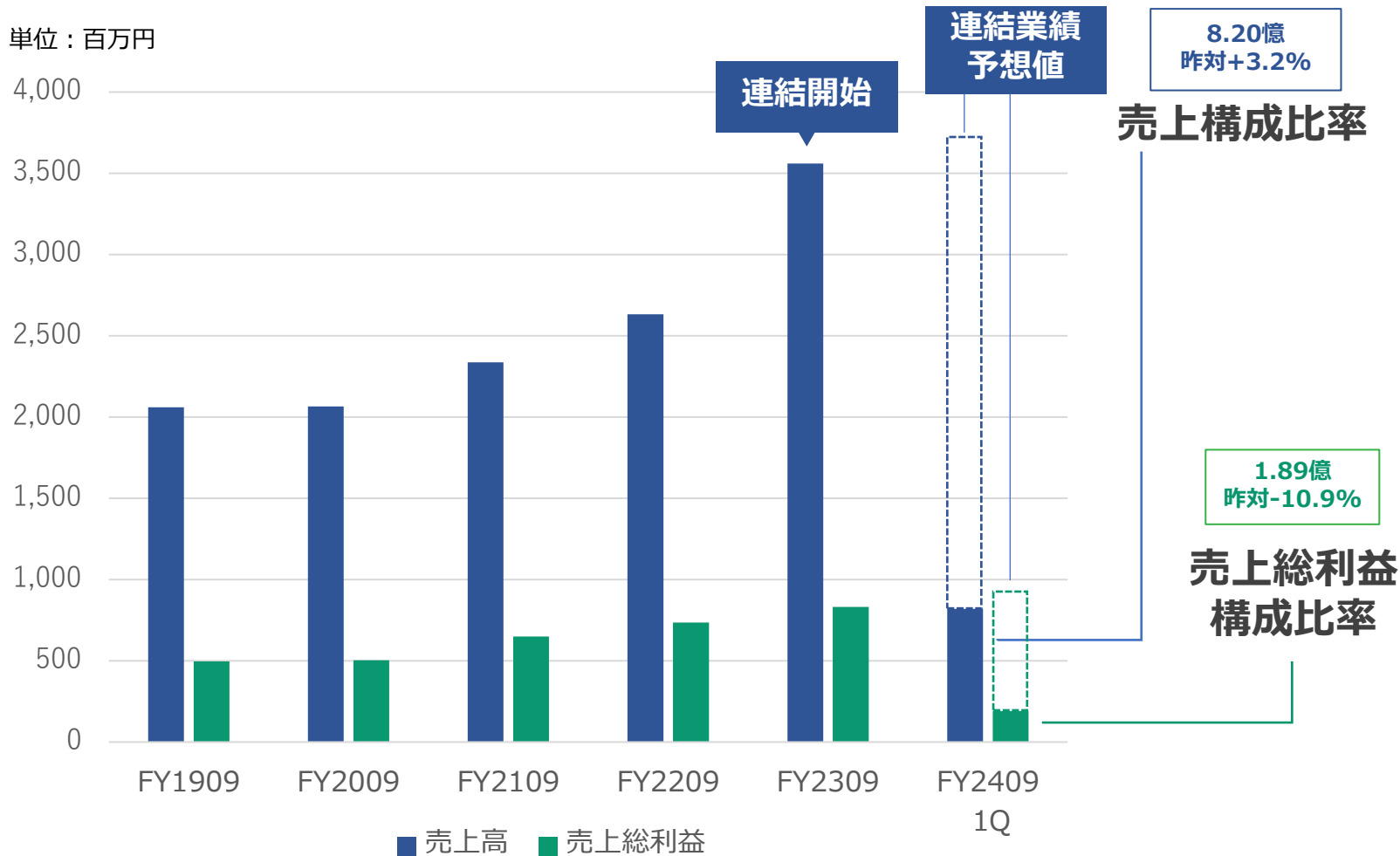


営業利益



売上総利益推移

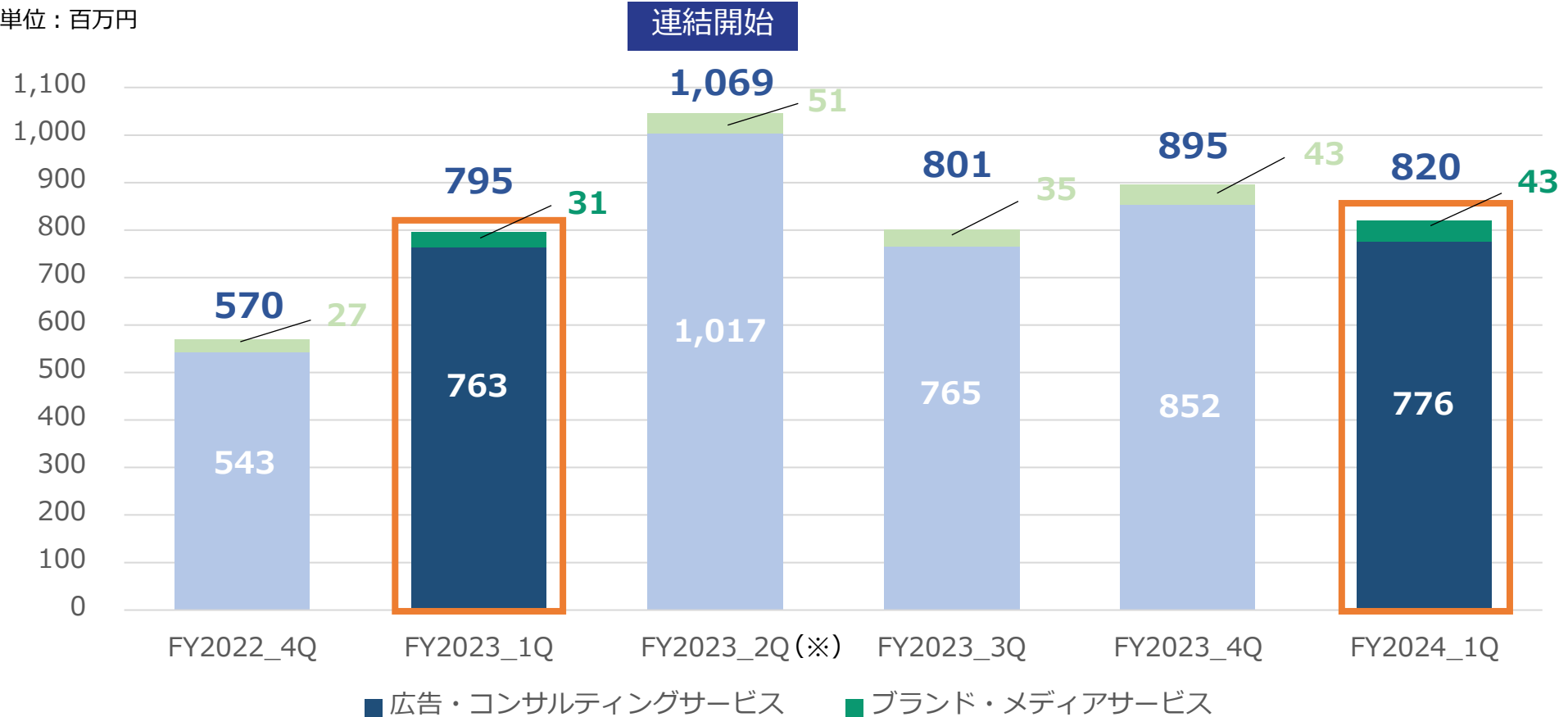
- 売上・売上総利益額は、着実に成長を実施
- ブランド・メディアが売上総利益への寄与度が大きくなり業績貢献



サービス別売上高推移

- 広告・コンサルティングサービスは、連結子会社のmeyco社の売上がデジタルリフト単体の売上減少を補い、微増となった (YonY 1.7%)
- ブランド・メディアサービスは、デジタルリフト単体売上が増加、連結子会社のmeyco社も加わり、YonYで大幅増加となった (YonY 39.6%増)

単位：百万円



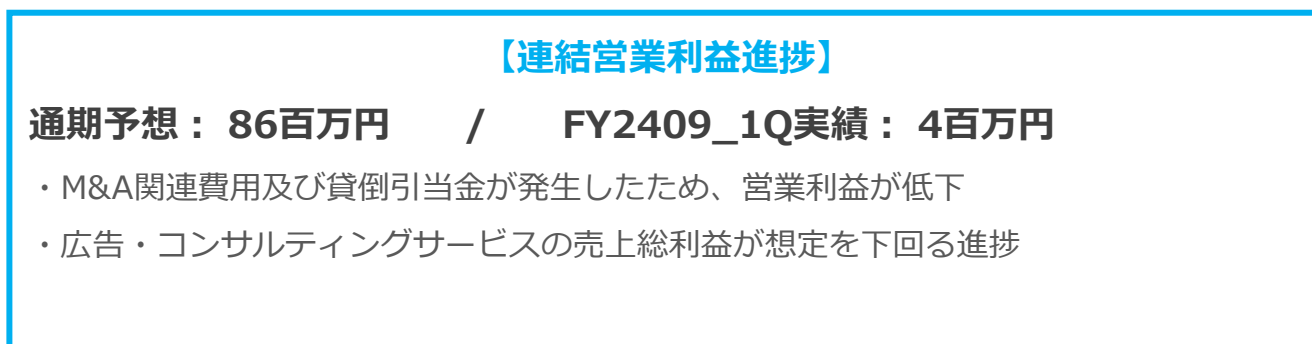
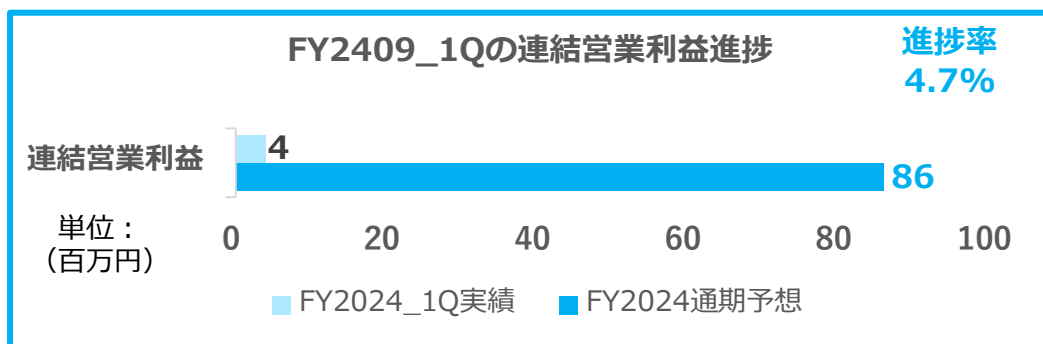
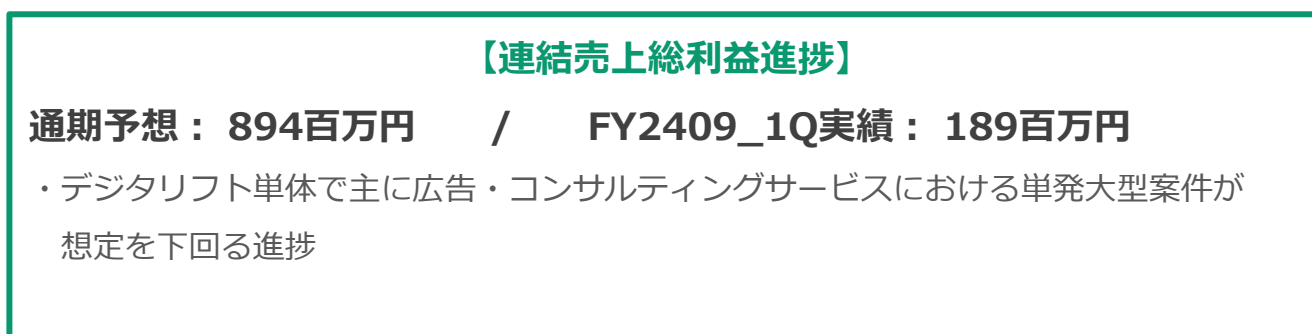
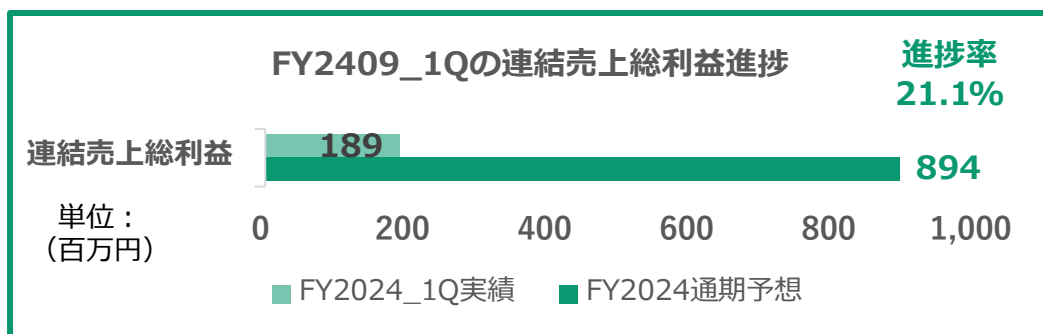
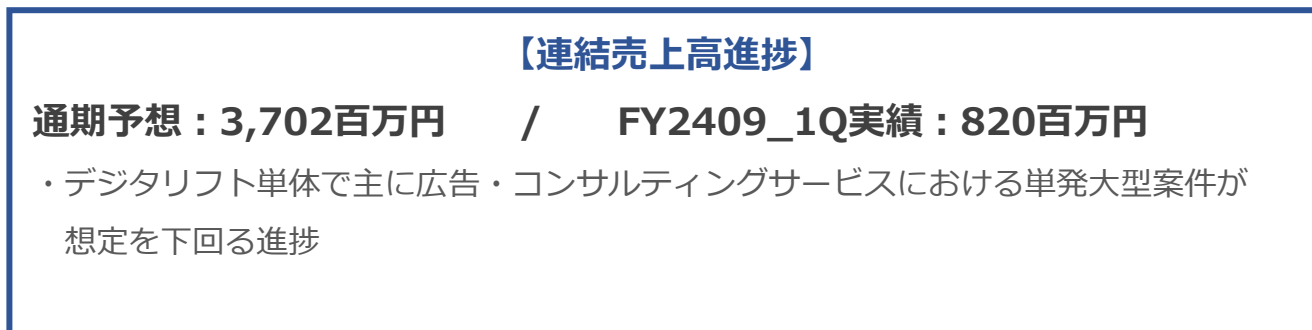
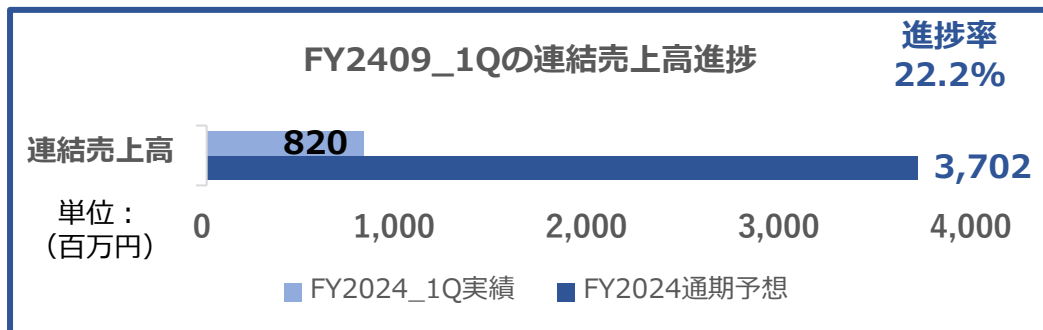
(※) FY2023_2Q以降は連結会計の数値

3. 2024年9月期 通期連結業績見込進捗



業績進捗状況について

2024年9月期第1四半期は広告・コンサルティングサービスの進捗が低く、営業利益の進捗にもヒット



事業領域

広告・コンサルティングサービス

コンサルティング

広告運用

さらなる利益創出のため収益構造見直し

ブランド・メディアサービス

インフルエンサー

アフィリエイト

SNSアカウント運用

ECモール支援

SEO

制作

サービス領域
拡張

グループシナジー

進捗

グループ経営



グループ会社の専門性を周辺領域と融合することでグループシナジー拡大

広告・コンサルティングサービス



さらなる利益創出のため収益構造見直し

ブランド・メディアサービス



新たなサービスや提供範囲の拡大



事業成長のため人的投資を実施



サービスラインナップの強化

4. 今後の成長戦略



位置づけ/成長方針

広告・コンサルティング

- ・ 基盤事業の収益構造の改革を実施する
- ・ 自社の規模拡大のみならず、M&Aも積極的に活用し拡大する

ブランド・メディア

- ・ 新たなサービスや提供範囲の拡充をする
- ・ 事業成長のための人的投資を実施する
- ・ 規模より種類でのサービスラインナップの強化をする
- ・ 自社での規模拡大のみならず、M&Aも積極的に活用し拡大する

投資・育成

- ・ スタートアップへの出資を通し、（中長期的に）2セグメントへの寄与させる
- ・ 投資単体でのパフォーマンスを実現する
- ・ M&Aの基盤作りをする

M&Aによる
規模拡大

▶ 詳細は次ページ

2セグメント
への寄与育成先も
M&A候補に

高い視野での
経営支援

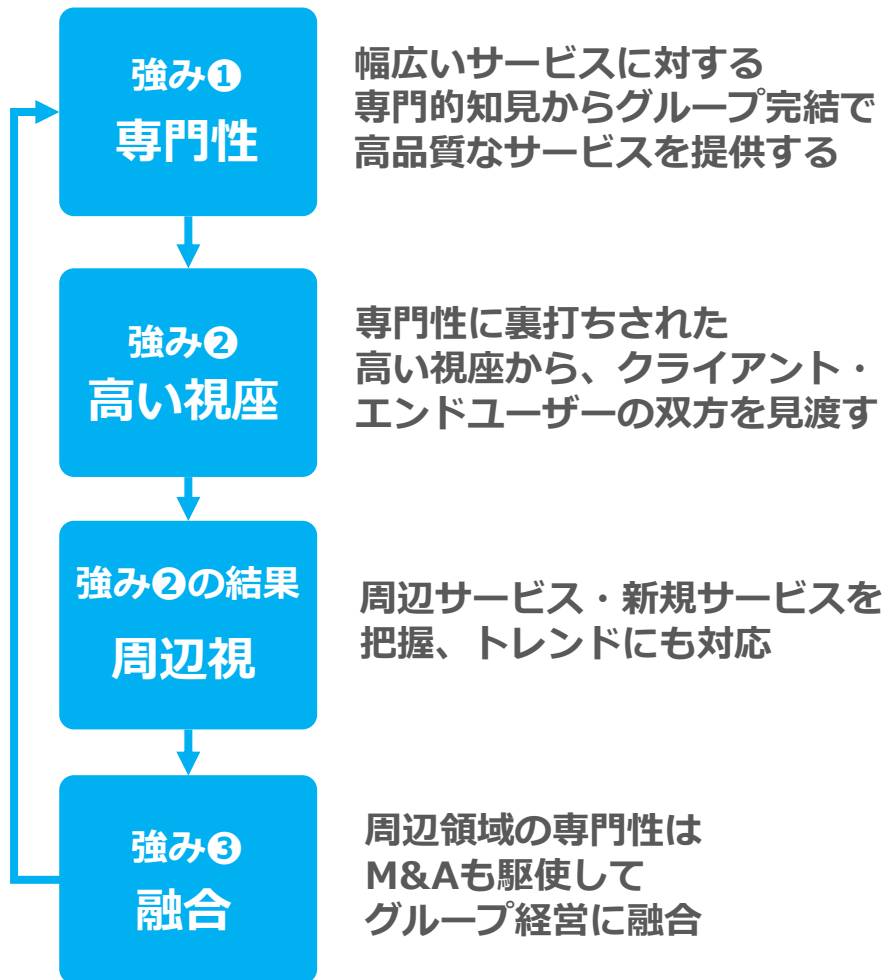
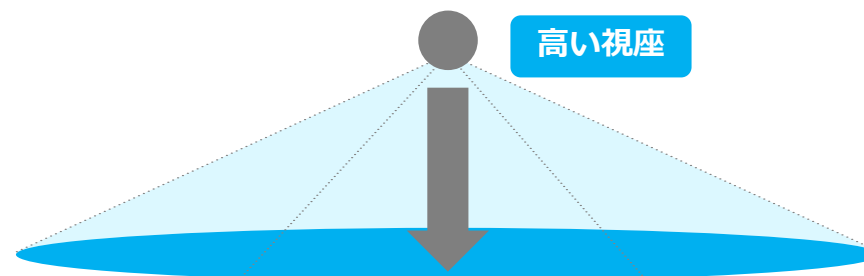
- 経営ミッション -

User Experienceを
デジタル技術で最適化する

積極的な買収を
実行する

専門性の高いベン
チャー企業群とと
もに大きな成長を
遂げる

専門性と高い視座から 周辺領域の融合を継続することで 顧客ニーズを当グループで充足していく



投資・育成

中長期的な重点戦略

探索

- 将来に向けて、事業領域を広げていくうえで、幅広い事業機会の探索・経営人材とのコミュニケーションは欠かせない

キャピタル
ゲイン

- 国策としてスタートアップ支援に資金が向けられているマーケット環境をうまく取り込み、純投資でもパフォーマンスをあげる（事業投資への還元サイクルを創る）

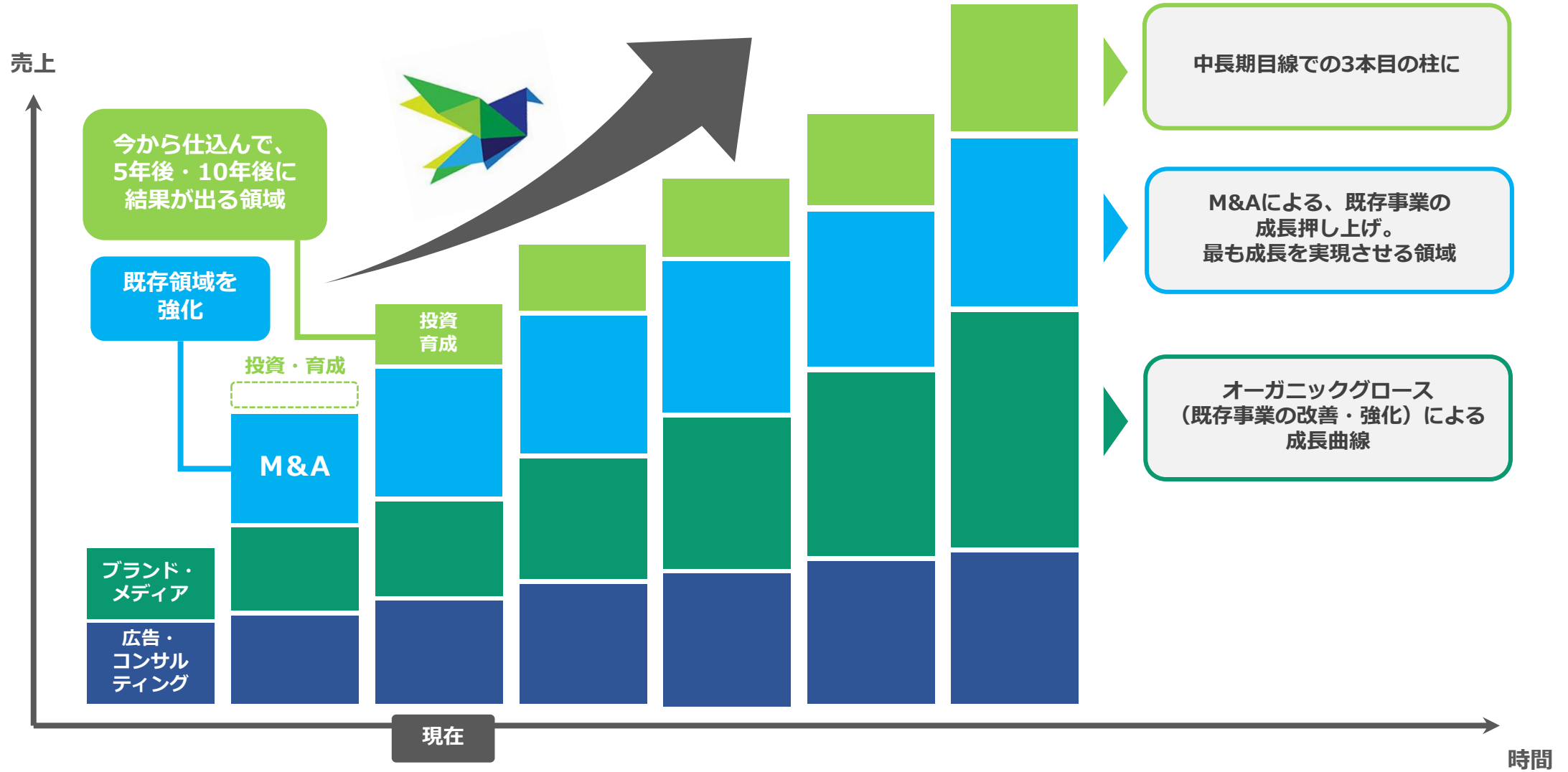
M&A
補完

- 経営レベルでの関与により、より一層のグループレベルでのシナジーが見込まれる場合には、投資・育成案件のM&Aも視野にいれる

投資
絶好期

- ベンチャーへの資金提供が渋い時期で割安時期
- ファンド設立額等の動向から、2023年上期から資金調達環境が悪化市況が投資絶好機会

M&A及び、投資育成事業により成長を加速



【免責事項】

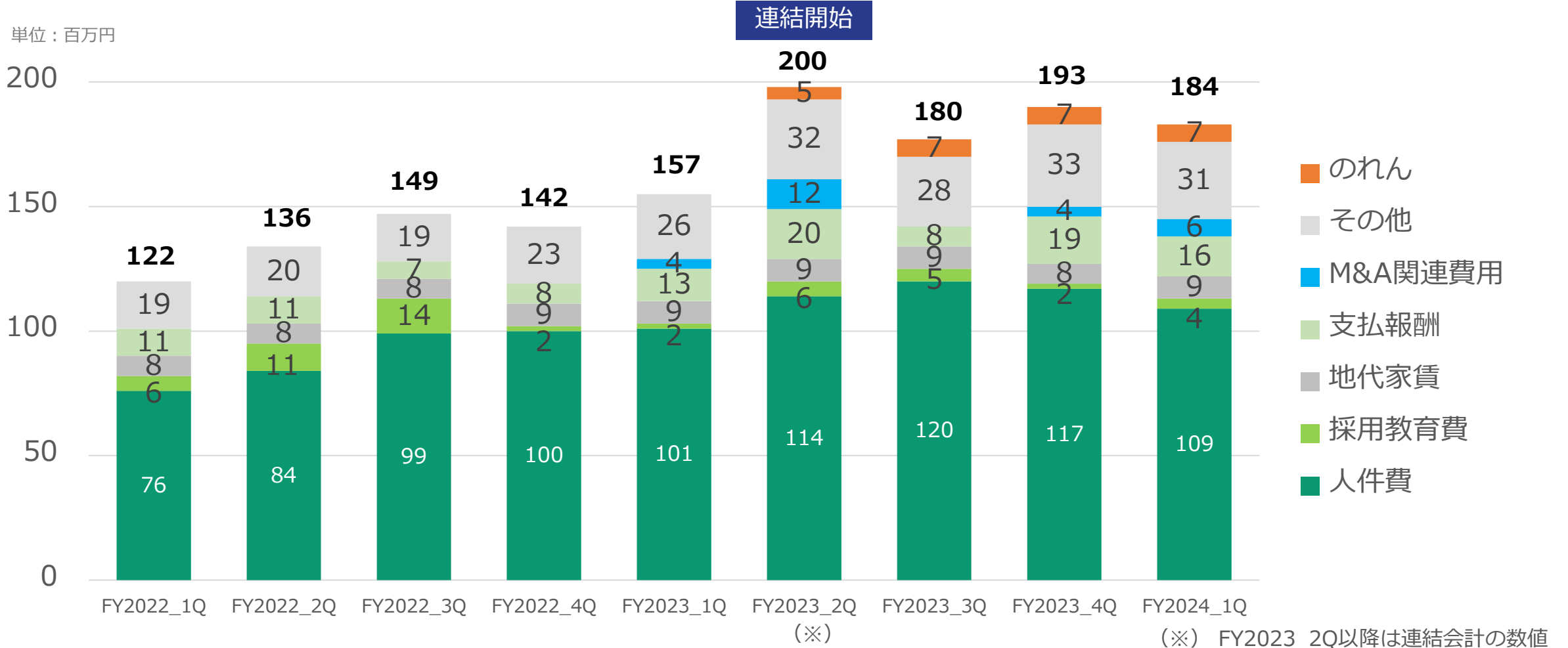
- 本資料において記載された情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内およびに国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

5. Appendix



販売管理費推移

- FY2023_4Q (QonQ) と比べて人件費が減少、その他費用として貸倒引当金を計上
- FY2023_1Q (YonY) と比べてのれん費用が増加、その他費用として貸倒引当金を計上
- FY2024_1Qまでにウェブコロール社M&A関連費用を計上済



連結売上高/連結営業利益推移

□ 連結売上高

- ・ 昨年の単発大型案件がなくなった影響によりデジタルリフト単体での売上は減少
- ・ meyco社の連結子会社化により増加

□ 連結営業利益

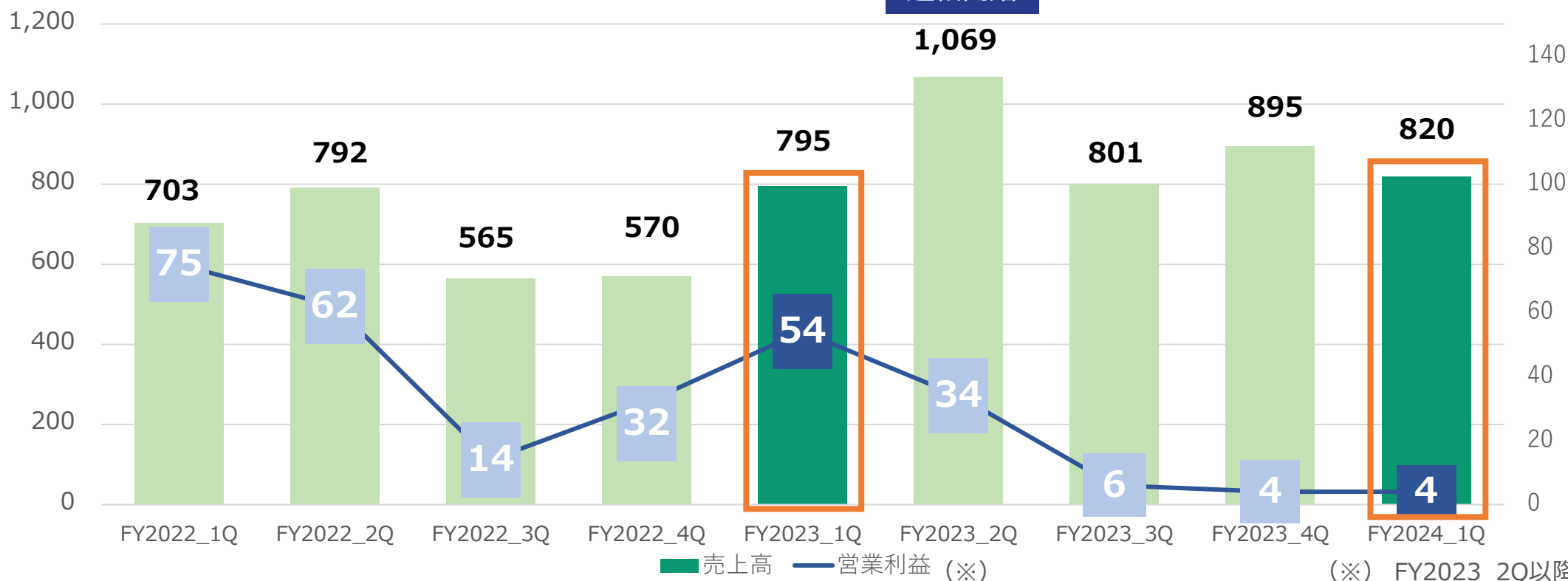
- ・ 売上総利益率の高い案件の減少による影響
- ・ 人件費、のれん費用、M&A関連費用が増加、貸倒引当金を計上し、営業利益が減少

売上高

単位：百万円

営業利益

単位：百万円

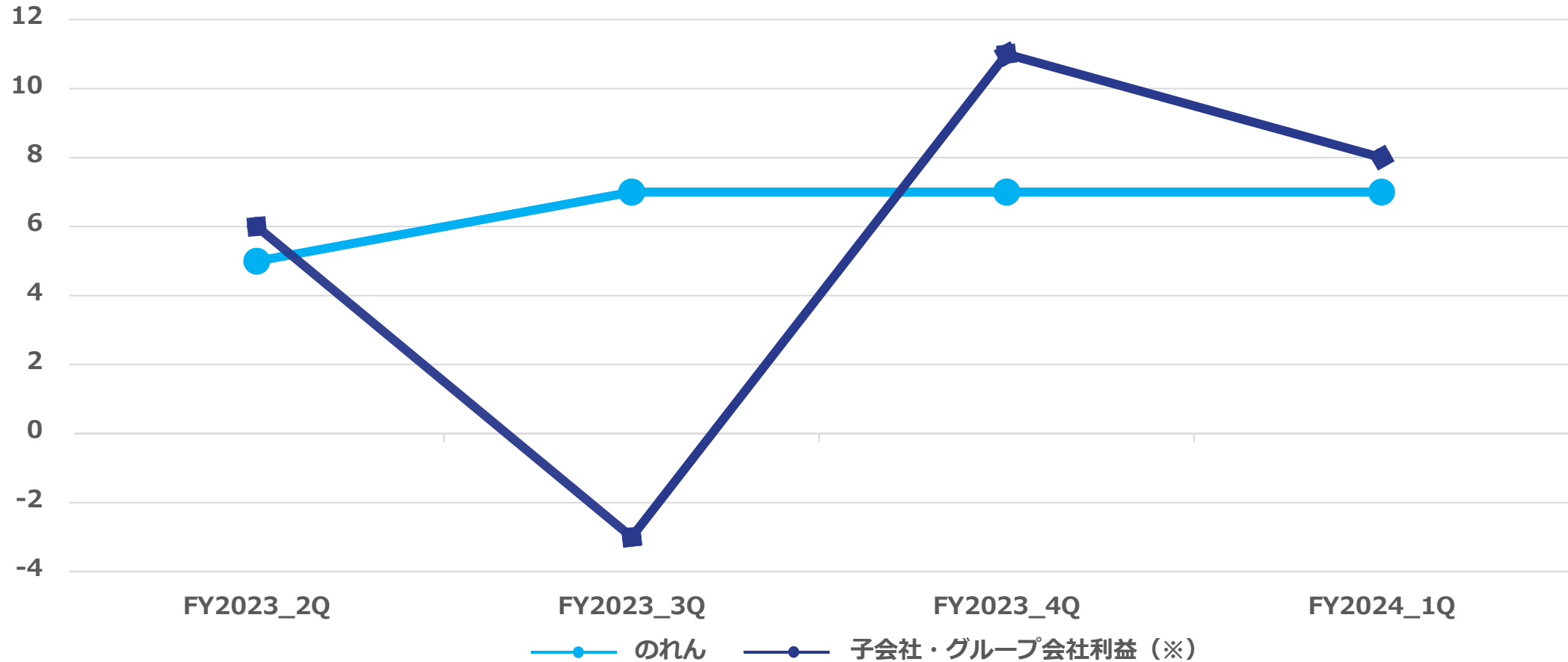


(※) FY2023_2Q以降は連結会計の数値

子会社・グループ会社業績推移

□ meyco社、ウェブコロール社の業績がのれん償却費をこなし、今後利益貢献のフェーズへ

単位：百万円



(※) 子会社・グループ会社利益の考え方
 FY2023_4Qまではmeyco社営業利益、
 FY2024_1Qはmeyco社営業利益+ウェブコロール社当期純利益×40% (持分法損益)

	連結	連結	単位：百万円
	2023年9月末	2023年12月末	増減額
流動資産	1,749	1,426	▲323
固定資産			
有形固定資産	6	5	▲0
無形固定資産	132	125	▲7
投資その他の資産	38	224	+186
資産合計	1,927	1,782	▲144
負債			
流動負債	1,057	814	▲243
固定負債	177	272	+95
負債合計	1,235	1,087	▲147
純資産合計	691	694	+2
負債純資産合計	1,927	1,782	▲144

企業情報

社名 株式会社デジタルリフト

設立 2012年11月

所在地

本社
東京都港区西麻布4-12-24

宮崎支社
宮崎県宮崎市橘通東4-1-2

千葉支社
千葉県千葉市中央区新千葉1-7-2

沖縄支社
沖縄県那覇市久茂地2-14-12

資本金 1億3,801万円

株主構成

百本正博	34.9%
株式会社フリークアウト・ホールディングス	33.9%
株式会社SBI証券	2.4%
楽天証券株式会社	1.9%

※2023年9月末株主名簿より
※小数点第2位は四捨五入

経営メンバー

取締役

百本 正博 代表取締役

鹿熊 亮甫 取締役

輿石 雅志 社外取締役

金山 藍子 社外取締役※

※社外取締役 金山藍子の戸籍上の氏名は、玉村藍子であります。

監査役

鈴木 順子 常勤監査役

久保 聖 非常勤監査役

水野 祐 非常勤監査役